

ひとに健康を、まちに元気を

10月19日、明治安田生命保険相互会社から市民の健康増進に役立てて欲しいと寄附をいただきました。

贈呈式で可児営業所長の森田信蔵さん(写真左から2人目)は「健康増進情報の普及活動や高齢者の見守り活動などこれからもさらに実効性のある取り組みを可児市で行いたい」と話し、市長は「日頃から健康増進の啓発など支援をいただきありがたい。これからも協力いただければ心強い」と感謝を伝えました。



投てきの一瞬に懸ける

10月20日、全日本中学校陸上競技選手権大会の砲丸投で13位などの成績を収め、愛媛県で開催されるJOCジュニアオリンピックカップ第52回U16陸上競技大会の砲丸投への出場権を獲得した石川潮早さん(蘇南中3年)の激励会を行いました。

石川さんは「前回の全国大会では叶わなかった8位入賞を目標に、自信を持って臨みたい」と力強く語りました。

市民の安全を守る

10月27日、災害時における支援協力に関する協定を株式会社可児自動車学校と締結しました。同社はドローンスクールも運営しており、災害時にはドローンを活用した情報収集やマイクロバスなどによる物資・人員の輸送、教室の避難所利用などができるようになりました。

代表取締役社長の坂崎雄介さんは「市民の皆さまのためにも、可児市の災害対応や対策に協力していきたい」と話しました。



いざ！全国の舞台へ

11月4日、直接打撃制ルールフルコンタクト空手で中部選抜を勝ち上がり、JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会と全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会に出場を決めた、日本空手道誠拳會館の矢嶋煉さん・磯谷柊介さん(東明小6年)、矢嶋晴さん(久々利保育園年長)の激励会を行いました。

3人は「全国大会では1戦1戦全力で頑張りたい」と大会に向け士気を高めていました。